

- 問1 1980年代後半から1990年代初頭にかけての、地価や株価が異常に高騰した「バブル経済」と呼ばれる時期における日本の廃棄物の状況と、その背景について説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 不況による消費の冷え込みから、ごみの排出量は1980年代後半から1990年代初頭にかけて横ばいの状態が続いた。 | 2. 環境保護意識の高まりによってリサイクル運動が全国に普及したため、ごみの総排出量は1980年代を通じて減少傾向にあった。 | 3. 大量生産・大量消費の社会背景により、ごみの総排出量は急激に増加し、年間5000万トンを超える水準に達した。 | 4. プラスチック製品の利用を制限する法律が施行されたことで、生活系ごみの排出量は1970年代に比べて大幅に抑制された。 |
|--|--|--|--|
- 問2 1989年12月、東ヨーロッパ諸国で民主化運動が高まるなか、アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ共産党書記長が地中海の島で会談を行い、第二次世界大戦後から続いた対立構造の終結を宣言しました。この会談を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------------|----------|----------|
| 1. ボツダム会談 | 2. サンフランシスコ平和会議 | 3. ヤルタ会談 | 4. マルタ会談 |
|-----------|-----------------|----------|----------|
- 問3 第二次世界大戦後のアジア情勢について、毛沢東を主席として1949年に中華人民共和国が建国された後の出来事として、インドネシアのバンドンで1955年に開催され、新興勢力であるアジアやアフリカの国々が平和十原則を採択した会議の名称を答えなさい。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------|---------------|-----------------|
| 1. 日韓基本条約調印会議 | 2. 日米安全保障会議 | 3. アジア・アフリカ会議 | 4. サンフランシスコ平和会議 |
|---------------|-------------|---------------|-----------------|
- 問4 欧州連合（EU）が発足した1993年に、千葉県の谷津干潟が登録された「ラムサール条約」の内容として、最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 酸性雨の原因となる物質の排出を抑えるため、多間での協力体制を構築している。 | 2. 文化財や自然環境のうち、人類全体にとって顕著な普遍的価値を持つものを保護している。 | 3. 国境を越えて移動する、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引を規制している。 | 4. 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。 |
|--|--|---|---|
- 問5 岩手県の人口動態において、20世紀半ばから21世紀初頭にかけての統計的な特徴を説明したものととして正しいものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1880年から現代まで、岩手県の人口は常に80万人から100万人の間で推移しており、140万人に達した時期はない。 | 2. 1950年代から2000年にかけて人口は一貫して増え続け、21世紀に入ってから初めて140万人の万台に乗った。 | 3. 1900年から1940年にかけて人口が倍増したことが、1950年代に人口が140万人を大きく割り込む原因となった。 | 4. 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。 |
|--|--|--|---|
- 問6 2001年以降、日本ではインターネットの利用人口が急増し、情報化社会が加速しました。かつてのラジオのように、情報の送り手が不特定多数の受け手に対して一方的に情報を伝えるメディアに対し、インターネットでは情報の送り手と受け手が入れ替わり、互いに情報をやり取りできるという特徴があります。このような特徴を何と呼びますか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------------|-------------|---------|
| 1. 一方的伝達 | 2. マスメディアの独占 | 3. 情報のデジタル化 | 4. 双方向性 |
|----------|--------------|-------------|---------|
- 問7 1989年にアメリカとソ連の首脳がマルタ島で会談し、長年続いた冷戦の終結を宣言しました。この歴史的な転換点を受け、翌1990年にヨーロッパで実現した出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-----------------|-------------------------|--------------------|
| 1. ソビエト社会主義共和国連邦が解体された | 2. ベルリンの壁が建設された | 3. 北大西洋条約機構（NATO）が結成された | 4. 東ドイツと西ドイツが統一された |
|------------------------|-----------------|-------------------------|--------------------|
- 問8 1940年代後半から始まった、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立である「冷戦」について述べた次の文のうち、1980年代末の動向として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 1989年にベルリンの壁が築かれ、これによって冷戦が始まった。 | 2. 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。 | 3. 1989年にソ連によるアフガニスタン侵攻が始まり、冷戦が再燃した。 | 4. 1989年にベトナム戦争が勃発し、冷戦がさらに激化した。 |
|------------------------------------|---|--------------------------------------|---------------------------------|
- 問9 380年以上の歴史を持ち、約1700人が参加する大規模な伝統的な祭りにおいて、伝統文化を次世代へ継承するために行われている取り組みの目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 観光客の誘致のみを主な目的として、伝統的な道具をすべて現代的なデザインに変更し、短期間で効率的に祭りを運営すること | 2. 祭りの担い手不足を解消するために、伝統的な儀礼の内容を大幅に簡略化し、事前の練習や準備を一切不要にすること | 3. 子どもたちが主役となる行列の企画や親子体験教室を通じて、地域住民が祭りに親しみ、継続的に関わる意欲を高めること | 4. 伝統技術の劣化を防ぐために、地域の住民は参加させず、歴史の専門家のみによってすべての行事を管理・保存すること |
|--|--|--|---|
- 問10 1991年に起こったソビエト連邦（ソ連）の解体と、その後の国際社会への影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 冷戦が終結したことで、ユーラシア大陸からすべての国境線が消滅した。 | 2. 東ヨーロッパの社会主義諸国が、ソ連を中心とする軍事同盟を強化した。 | 3. 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。 | 4. 東西に分断されていたドイツが、一つの主権国家として統合された。 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|------------------------------------|
- 問11 明治政府は北海道の開拓を進める中で、アイヌの人々に対して日本語の使用を強いたり、伝統的な生活習慣を制限したりする同化政策を行いました。この時に制定され、アイヌの人々の独自の文化を否定する側面があった法律と、その反省に立ち、アイヌの人々の誇りを尊重し文化の継承を図るために1997年に制定された法律の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1. アイヌ新法 — 北海道旧土人保護法 | 2. 北海道旧土人保護法 — 民族共生象徴空間設置法 | 3. 北海道旧土人保護法 — アイヌ文化振興法 | 4. 国家総動員法 — アイヌ文化振興法 |
|----------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------|
- 問12 1930年代後半、日中戦争が長期化する中で制定された「国家総動員法」の目的と、その内容についての説明として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。 | 2. 企業の生産活動によって発生する大気汚染や水質汚濁に対し、企業の社会的責任を明確にすること。 | 3. 地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡し、自作農を増やして社会を安定させること。 | 4. 教育の機会均等を実現し、個人の尊厳を重んじる民主的な教育制度を確立すること。 |
|--|--|---|---|
- 問13 1990年にイラクがクウェートに侵攻したことをきっかけとして、翌1991年にアメリカを中心とする多国籍軍がイラクを攻撃したことで始まった国際紛争を何といいますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|--------------|
| 1. 湾岸戦争 | 2. アフガン戦争 | 3. ベトナム戦争 | 4. イラン・イラク戦争 |
|---------|-----------|-----------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 大量生産・大量消費の社会背景により、ごみの総排出量は急激に増加し、年間5000万トンを超える水準に達した。	バブル経済期は、空前の好景気を背景に人々の消費活動が極めて活発になった時期です。この「大量消費」のライフスタイルは、廃棄物の急激な増加を招きました。当時のごみ排出量の推移を見ると、1980年代後半から急激に右肩上がりの曲線を描き、5000万トンを突破してピークへと向かう様子が確認できます。この時期の社会問題は、後の循環型社会形成推進基本法の制定など、資源循環への意識転換のきっかけとなりました。
問2	答え 4 マルタ会談	1989年は「ベルリンの壁」が崩壊するなど、東欧の共産主義体制が次々と崩れた年でした。この劇的な情勢の変化を受け、米ソの両首脳が地中海のマルタ島で集まり、長きにわたる冷戦の終結を世界に宣言しました。第二次世界大戦末期に冷戦の端緒となったヤルタ会談と対比して語られることが多い重要な出来事です。
問3	答え 3 アジア・アフリカ会議	第二次世界大戦後、中国では国民党との内戦を経て1949年に中華人民共和国が建国されました。その後、植民地支配から独立を果たしたアジアやアフリカの国々が1955年にインドネシアのバンドンに集まり、平和共存や反植民地主義を掲げるアジア・アフリカ会議を開催し、国際社会での存在感を高めました。
問4	答え 4 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地を保護し、保全することを目的としている。	ラムサール条約は、1971年にイランのラムサールで採択された条約で、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいます。1993年にEUが誕生した時期、日本でも環境意識の高まりとともに、埋め立ての危機から守られた谷津干潟（千葉県習志野市）がこの条約に登録されました。他の選択肢は、ワシントン条約、ウィーン条約、世界遺産条約などの説明です。
問5	答え 4 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。	岩手県の長期的な人口推移を見ると、1950年代に最初の大きなピークがあり、この時期に140万人を超えています。その後、21世紀初頭の2000年時点でも140万人近い水準にありましたが、そこから2010年にかけての10年間で約133万人まで減少しており、少子高齢化や社会増減の影響による人口減少局面に入っていることがわかります。「1900年から1940年の間に人口が2倍になった」という事実はなく、また「全時期を通じて80万人以下」という説明も誤りです。
問6	答え 4 双方向性	ラジオやテレビなどの伝統的なメディアは、発信者が一方的に情報を届ける形式が主でした。これに対し、インターネットは個人が情報の受信者であると同時に発信者にもなれる「双方向」の性質を持っており、掲示板やSNS、電子メールなどを通じて情報のやり取りが自由に行われるようになったことが、社会に大きな変革をもたらしました。
問7	答え 4 東ドイツと西ドイツが統一された	1989年に民主化を求める市民によってベルリンの壁が崩壊し、同年のマルタ会談でアメリカとソ連が冷戦の終結を宣言しました。この流れを受け、第二次世界大戦後から分断されていた東西ドイツが1990年に再び一つの国になりました。選択肢にあるソ連の解体は1991年、ベルリンの壁建設は1961年、NATOの結成は1949年の出来事であり、時期や背景が異なります。
問8	答え 2 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。	第二次世界大戦後、世界はアメリカとソ連をそれぞれリーダーとする二つの陣営に分かれて対立していましたが、1980年代末になると東欧諸国で民主化運動が高まりました。1989年のベルリンの壁崩壊は、分断の象徴が失われたことを意味し、同年に行われたマルタ会談での冷戦終結宣言へとつながる決定的な出来事となりました。ベトナム戦争は1960年代から70年代にかけての出来事であり、冷戦の始まりは1940年代後半のことです。
問9	答え 3 子どもたちが主役となる行列の企画や親子体験教室を通じて、地域住民が祭りに親しみ、継続的に関わる意欲を高めること	地域の伝統文化を長く維持するためには、単に形式を保存するだけでなく、その地域に住む人々が自発的な担い手として育つ環境が必要です。子ども向けの行列や親子対象の体験教室は、次世代を担う層が幼少期から伝統に直接触れる機会を作り、自分たちの地域の文化に誇りや愛着を持つきっかけとなります。これにより、専門家任せではない、地域全体による持続可能な継承が可能になります。
問10	答え 3 連邦を構成していた各共和国が独立国家となり、次々と国際連合に加盟した。	ソ連の解体は冷戦終結を象徴する出来事であり、それまで連邦の一部であった各共和国は主権を持つ独立国家となりました。これらの新国家が国際連合へ加盟したことで、国際社会における国家数は大幅に増加し、現代の国際秩序が形成される大きな節目となりました。なお、ドイツの統一やベルリンの壁崩壊はソ連解体に先立って起こった関連事象ですが、直接の「解体による変化」とは区別する必要があります。
問11	答え 3 北海道旧土人保護法 ― アイヌ文化振興法	明治時代、政府は「北海道旧土人保護法」を制定してアイヌの人々の土地を奪い、狩猟を禁じて農業への転換を強いるなどの同化政策を進めました。これによりアイヌ独自の文化や言語が失われる危機に直面しました。こうした歴史的背景を受け、人権意識の高まりや国際的な先住民保護の流れの中で、1997年に「アイヌ文化振興法」が制定されました。この法律は、アイヌの人々の伝統や風習を尊重し、その文化を振興・継承することを目的としています。
問12	答え 1 議会の承認なしに、戦争遂行のために必要な人的・物的資源を政府が統制・動員すること。	1938年に制定された国家総動員法は、戦争のために国全体の力を集中させる「総力戦体制」を構築することが目的でした。この法律により、政府は帝国議会の審議を経ることなく、国民を徴用したり、物資の生産や配分を統制したりする強大な権限を持つようになりました。
問13	答え 1 湾岸戦争	冷戦終結後の1990年代初頭に発生したこの紛争では、国際社会が連携して侵略行為を阻止するために多国籍軍が結成されました。日本はこの紛争への対応をめぐり、憲法の平和主義を維持しつつ、国際紛争に対してどのような役割を果たすべきかという課題に直面することとなりました。